



下津井中学校HP
二次元コード

はばたき

倉敷市立下津井中学校
学校だより
令和3年4月16日
NO. 2
校訓 自主・勤労・責任

4月13日 入学式

4月13日(火)、令和3年度入学式が行われました。昨年と同様に、例年と違った形となりましたが、男子5名、女子10名、計15名の新生が入学しました。広い体育館の中に、緊張しながらも堂々と入場してきた新生一人一人の姿からは、これからの中学校生活を一生懸命頑張っていこうという気持ちが伝わってきました。授業を大切に、部活動に励み、社会性を身につけていくことができるように、中学校生活を送ってほしいと思います。



今年から男女混合名簿を採用しています

下津井中学校では、本年度から男女混合名簿を採用しています。倉敷市では、「くらしきハーモニープラン～第三次倉敷市男女共同参画基本計画～」にもとづき、男女共同参画意識を育む環境整備の一環として、男女混合名簿の導入を進めてきました。倉敷市内の小学校ではすべての小学校で導入されており、下津井中学校ではその趣旨を踏まえて、本年度から導入しました。学校生活の中では、男女別に分ける場面があります。男女別習の教科や検診などがありますが、その場合は、必要に応じて男女別名簿を使用することになります。

なお、今後、想定されていないことがあるかもしれません。お気づきのことがありましたら、ご相談ください。よろしくお願いいたします。

いつも「男が先、女が後」でいいの？

学校においてこれまで多かったのは、男女別に分けて男子を先、女子を後に並べる男女別名簿でした。しかし、学校で男女別名簿を使用している国は世界的には極めて少なく、1985年のナイロビ世界女性会議での参加者の調査では18か国中、男女別名簿を使用している国は日本とインドだけでした。男女別だとどうしても習慣として男子が先になるので、男子が優先され、女子は後回しにされるということが多くなります。そのことに対して疑問や不満をもっている生徒がいるかもしれません。意識していない生徒にとっても、男女が平等に扱われていないことが刷り込まれてきます。性別によって優先順位が決まるのは好ましくありません。かといって女子を優先しても同じことです。男女差別・格差のない学校にするためには、性別によって順位をつけない混合名簿がふさわしい。このような考えで倉敷市ではこの男女混合名簿の採用を推進しています。

倉敷市教育委員会人権教育推進室「男女混合名簿の導入について」より

